岡三証券
グループ
OKASAN SECURITIES GROUP

株主のみなさまへ

第71期中間のご報告

（平成20年４月 １ 日から
平成20年９月30日まで）

株式会社 岡三証券グループ

会社概要（平成20年10月1日現在）

商　　号	株式会社岡三証券グループ （OKASAN SECURITIES GROUP INC.）
所　在　地	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創　　業	大正12年4月4日
設　　立	昭和19年8月25日
資　本　金	18,589,682,639円
グループ会社	11社
従 業 員 数	3,261名 （第71期第2四半期連結ベース）
上場金融商品取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所

本社ビル

目　次

株主のみなさまへ…… 1
中期経営計画…… 2
岡三トピックス…… 4
財務ハイライト…… 7
四半期連結財務諸表 …… 8
経営体制…… 10
株式の状況・株主メモ …… 12
キーワード …… 13

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。

ここに、第71期中間の事業概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

当上半期の金融市場は、昨年来続いている米国サブプライムローン問題の広がりに対する不安心理を抱えながらのスタートとなりました。その後、9月に入ってからの米大手証券会社の破綻を契機に世界的な信用収縮が加速し、欧米の金融機関の国有化や大規模な再編が相次ぎました。この結果、第2四半期末にかけて、株式は世界規模で急落し、一方の為替については円の全面高となりました。

このような環境のもと、当社は、特色ある証券グループとして発展を期するため、本年10月1日をもちまして商号を株式会社岡三証券グループに変更いたしました。これにより、当期初までに実施したグループ会社の事業再編とあわせて、リテール証券ビジネス、オンライン証券ビジネス、アセットマネジメント・ビジネスの主要3事業を中心とした、時代の急速な変化にも柔軟に対応できる体制を整えました。

また、岡三証券グループの長期的に安定した成長を可能とする経営基盤の構築とブランドの強化に取り組むべく、本年4月より3ヵ年の新中期経営計画を実行しております。同計画では、証券会社グループの生命線である「商品」および「投資情報」の飛躍的レベルアップを最重点項目としておりますが、金融市場が激動している現在の局面においてこそ、創業85周年をむかえた当社の証券会社としての真価が問われるものと思っております。

今後も、お客さまの資産形成への貢献を通じて、岡三証券グループ全体のさらなる価値向上に努めてまいる所存でございます。株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

平成20年11月

取締役会長
加藤精一

取締役社長
加藤哲夫

中期経営計画

『情報の岡三』確立へ向けて

平成20年（2008年）4月から平成23年（2011年）3月末までを対象期間とする、中期経営計画を策定しその実現に取り組んでいます。

■ 当上半期における中期経営計画の進捗状況

今回の中期経営計画では、当社グループの生命線である「商品」および「投資情報」提供力の飛躍的なレベルアップにより市場での存在感を高め、長期的に安定した成長を可能とする経営基盤の構築を主要なテーマとしています。当上半期においては、投資情報提供力の強化として、岡三証券では投資情報部門を集約し岡三グローバルリサーチセンターを8月に開設いたしました。また、資産運用ビジネスの強化策として、日本橋本店に「ウェルスクライアント部」を設置したほか、名張支店桔梗が丘営業所をリニューアル移転しました。また、大阪店、梅田支店の旗艦店化を推進いたしました。働きがいのある会社ナンバーワンの実現に向けては、社内研修、適切な人材配置、心身の健康管理促進等を実施いたしました。その他、IT基盤の構築面では、平成21年1月に迫った株券電子化への対応を進めたほか、岡三オンライン証券では個人投資家向けのトレーディングツールの開発を進めるなど、着実に進捗させております。

■ 中期経営計画の進捗状況

1 ● 商品・投資情報提供力の強化	• 岡三グローバルリサーチセンターの開設 • 社内イントラネットによる情報提供インフラの拡充 • 岡三アセットマネジメントによる資産運用ビジネス強化
2 ● 資産運用ビジネスの強化	• 富裕層顧客向け「ウェルスクライアント部」を設置 • 名張支店桔梗が丘営業所のリニューアル移転 • 大阪店、梅田支店の旗艦店化を推進（下半期にて実施）
3 ● 働きがいのある会社No.1の実現	• 社内研修、適切な人材配置、心身の健康管理促進 • グループ会社ごとの独自人事制度への見直し検討へ
4 ● 革新的な IT 基盤の構築	• 新基幹システム「ODIN」による株券電子化対応 • 岡三オンライン証券「岡三ネットトレーダー」提供開始
5 ● 岡三証券グループ共通の高いブランドの確立	• 株式会社岡三証券グループへの社名変更（10月1日） • 岡三証券グループの新しいテレビCM制作（10月より放映） • 岡三アセットマネジメントの新ロゴマーク制定、他

今後とも中期経営計画の実践を通じ、投資家、マーケットから真に信頼される魅力的な証券会社グループの実現を目指してまいります。

■ 新たなテレビCMなどを展開

10月1日付の社名変更に伴い、岡三証券グループのブランド力、認知度などの向上を図るため、新しいテレビCMの放映、新聞への告知広告を展開いたしました。

テレビCMは、京都市の左京区にある「詩仙堂」の庭園などを背景に撮影いたしました。美しい3人のバレリーナが高く跳ぶさまは、当社グループ各社の未来への飛躍を意味しています。

新CMは、テレビ東京系列の「ニュースFINE!」「出没!アド街ック天国」、三重テレビの「岡三投資情報室」「ええじゃないか。」のほか、多数のテレビ番組において放映しています。また、CMシーンの一部を使用したポスターを作成し、岡三証券の各営業店に掲示しております。

店頭掲示ポスター（京都詩仙堂編）

店頭掲示ポスター（バレリーナ編）

岡三トピックス

■ 岡三グローバルリサーチセンターを開設

投資情報部門を集約し「情報の岡三」確立へ

岡三証券では、投資情報提供力のさらなる強化のため、8月25日付で東京都中央区日本橋に「岡三グローバルリサーチセンター（略称：GRC）」を開設いたしました。同センターには、投資戦略部、経済調査部、企業調査部、情報企画部の投資情報部門4部署を集約いたしました。

同センターの開設により、マクロ経済から個別企業、マーケット情報まで一元化したリサーチ体制が整いました。今後は、より一層、投資情報の創り方、伝え方の改革を推進し、「情報の岡三」の確立を目指してまいります。

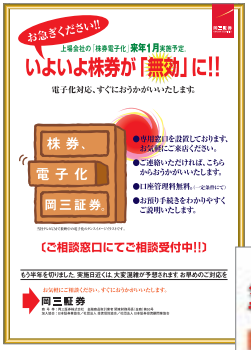
グローバルリサーチセンター内風景

■ 株券電子化への対応

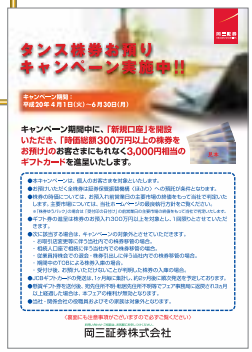
タンス株券お預りキャンペーンを展開

当社グループでは、株券の電子化に向け、投資家のみなさまへの情報提供を継続的に行ってまいりました。

株券電子化は平成21年1月の実施が予定されており、岡三証券では、株券電子化の実施をご案内するテレビCMを制作し、5月より同社提供番組において放映するとともに、各種のパンフレット、広報誌「Adesso」、全国の営業拠点を通じ、投資家のみなさまへの周知に努めてまいりました。また、同社では4月から「タンス株券お預りキャンペーン」を実施し、多数の方々からタンス株券をお預けいただきました。



株券電子化告知ポスター



キャンペーンパンフレット

■ 岡三アジア情報館、開館3周年

おかげさまで来館者数も延べ3万人を突破

アジア各国の投資・ビジネス、文化・伝統等に関する情報をリアルタイムに提供する情報発信基地「岡三アジア情報館」（東京都港区虎ノ門）は、平成20年9月15日をもちまして開館3周年を迎えました。来館者数も9月2日には延べ3万人を突破いたしました。アジア情報館では、アジア各国のマーケット情報のみならず、文化・伝統についてもお伝えするイベントを定期的に開催しています。9月には開館3周年記念週間として、多彩なゲストをお迎えした特別イベントを開催し、ご好評をいただきました。

岡三アジア情報館開館3周年記念イベント

■ 岡三オンライン証券、最先端投資ツールを提供

「岡三ネットトレーダー」提供開始

岡三オンライン証券は6月に、最先端のトレーディングツール「岡三ネットトレーダー」の提供を正式に開始いたしました。「岡三ネットトレーダー」は、情報分析から発注、ポートフォリオ管理まで投資家の資産運用を一元的にサポートする画期的なトレーディングツールです。スタンダード版のほか、高機能の「プレミアム」、発注機能に特化した「ライト」の3シリーズを用意し、幅広い投資家の方々にこの最先端ツールをご利用いただいております。

また、岡三オンライン証券では、「岡三ネットトレーダー」の発表を記念して6月下旬から9月末までの間、日本株取引手数料無料キャンペーンを実施いたしました。

「岡三ネットトレーダー」イメージ図

■ 岡三アセット、発足記念セミナーを開催

社名変更に伴い、ロゴマークも一新

岡三アセットマネジメントでは、同社発足を記念して、9月19日に東京国際フォーラムにおいて「十二単衣・アトラス フェア」と題した同社発足記念セミナーを開催いたしました。当日は、記念講演のほか同社主力ファンドの十二単衣、アトラスの運用報告が行われ、多数の投資家の方々にご参加いただきました。

また、同社では社名変更に伴いロゴマークを一新し、10月より使用を開始いたしました。新ロゴマークは、岡三証券グループの社章にも用いられている「蛇の目」をベースに、アセットマネジメントの頭文字である「A」と「M」を融合させたデザインといたしました。

発足記念セミナー風景

新ロゴマーク

■ 岡三証券グループ、ホームページを刷新

社名変更に伴い、ドメイン名を変更

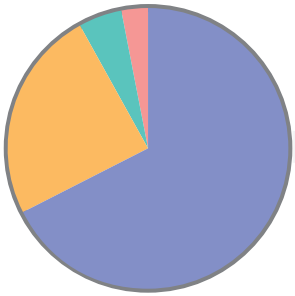
岡三証券グループのホームページは、10月1日付の社名変更に伴いドメイン名を変更いたしました。当社ホームページは、動画や画像を多く取り入れたデザインと必要な情報を探しやすいようユーザビリティを心がけた使いやすいホームページとなっており、複数のIR評価会社より優秀サイト賞をいただいております。

CSR活動状況などのコンテンツも充実させ、新着情報を迅速にお届けするためIRニュースのメール配信を行っています。今後もさらなる改善と充実を図り、みなさまからご愛用いただけるホームページを目指してまいります。

岡三証券グループ ホームページ
URL：http://www.okasan.jp

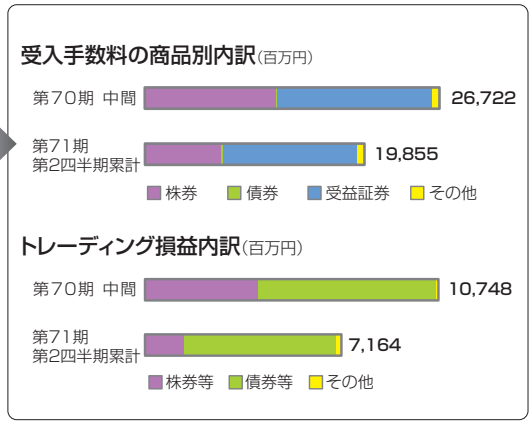
財務ハイライト

当第2四半期までにおける当社グループの営業収益は293億1百万円、経常利益は9億68百万円、四半期純利益は6億83百万円となりました。



営業収益

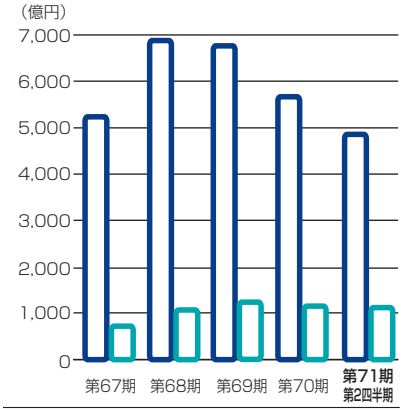
受入手数料	19,855百万円
トレーディング損益	7,164百万円
金融収益	1,452百万円
その他の営業収益	828百万円



ポイント

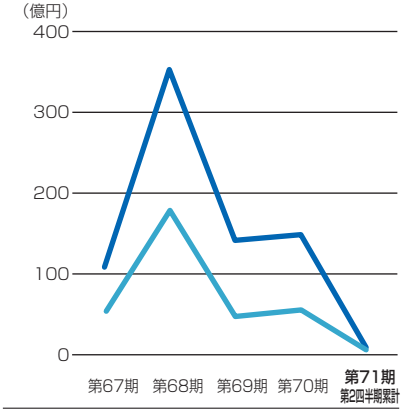
米国の金融不安の深刻化と実体経済の下押し懸念から世界的な株式市場低迷となり、株式関連収益が大幅に減少したほか、投資信託の販売環境も悪化したことから、受入手数料、トレーディング損益とも前年を下回る水準となりました。

総資産・純資産



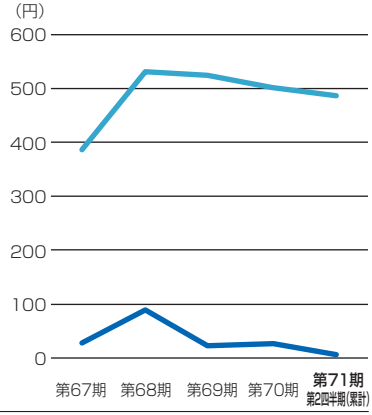
	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期 第2四半期
総資産	5,296	6,930	6,830	5,735	4,927
純資産	762	1,106	1,301	1,220	1,183

経常利益・四半期(当期)純利益



	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期 第2四半期累計
経常利益	112	353	142	148	9
四半期(当期)純利益	55	178	47	56	6

1株当たり四半期(当期)純利益・純資産



	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期 第2四半期(累計)
1株当たり四半期(当期)純利益	27	89	22	27	3
1株当たり純資産	387	534	522	500	485

四半期連結財務諸表

四半期（中間）連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　　目	当年度第2四半期（平成20年9月30日）	前年度中間（平成19年9月30日）
＜資産の部＞		
流動資産	**434,712**	**573,091**
現金・預金	36,756	39,988
預託金	26,833	25,493
トレーディング商品	125,271	201,910
信用取引資産	54,205	89,793
有価証券担保貸付金	179,271	202,203
その他の流動資産	12,374	13,702
固定資産	**58,031**	**63,416**
有形固定資産	15,848	15,066
無形固定資産	8,798	5,717
投資その他の資産	33,384	42,632
資産合計	**492,743**	**636,508**
＜負債の部＞		
流動負債	**347,682**	**480,151**
トレーディング商品	116,882	173,105
約定見返勘定	1,105	9,973
信用取引負債	25,893	27,328
有価証券担保借入金	55,226	90,621
預り金	14,819	25,179
受入保証金	17,418	18,976
短期借入金	110,928	124,937
その他の流動負債	5,407	10,030
固定負債	**26,216**	**27,630**
長期借入金	13,102	11,534
退職給付引当金	4,978	5,427
その他の固定負債	8,135	10,668
特別法上の準備金	**482**	**1,302**
負債合計	**374,381**	**509,084**
＜純資産の部＞		
株主資本	**95,847**	**96,489**
資本金	18,589	18,589
資本剰余金	12,917	12,791
利益剰余金	66,146	65,916
自己株式	△ 1,806	△ 808
評価・換算差額等	**3,443**	**7,554**
その他有価証券評価差額金	3,409	7,334
土地再評価差額金	207	101
為替換算調整勘定	△ 174	118
少数株主持分	**19,071**	**23,379**
純資産合計	**118,361**	**127,423**
負債・純資産合計	**492,743**	**636,508**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期（中間）連結損益計算書

（単位：百万円）

科　　目	当年度第2四半期累計（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）	前年度中間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）
営業収益	**29,301**	**39,916**
受入手数料	19,855	26,722
トレーディング損益	7,164	10,748
金融収益	1,452	1,785
その他の営業収益	828	660
金融費用	**1,222**	**1,394**
純営業収益	**28,079**	**38,522**
販売費・一般管理費	**27,957**	**29,315**
営業利益	**122**	**9,206**
営業外収益	**1,037**	**660**
営業外費用	**190**	**202**
経常利益	**968**	**9,664**
特別利益	**1,551**	**272**
特別損失	**119**	**143**
税金等調整前四半期(中間)純利益	**2,399**	**9,793**
法人税、住民税及び事業税	**568**	**4,541**
法人税等調整額	**849**	**1,218**
少数株主利益	**297**	**975**
四半期(中間)純利益	**683**	**3,057**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期（中間）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　　目	当年度第2四半期累計（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）	前年度中間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,304	4,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 705	△ 2,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,382	3,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	△ 34
現金及び現金同等物の増減額	1,313	4,896
現金及び現金同等物の期首残高	28,846	24,920
新規連結に伴う現金及び現金同等物の期首残高	—	2,355
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 1,256
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	30,159	30,916

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（注）当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

受入手数料

受入手数料の合計は198億55百万円となりました。主な内訳は次のとおりです。

①委託手数料

東証の1日平均売買高（内国普通株式）は、株数で21億27百万株、売買代金で2兆3,711億円となり、市況低迷の影響を受けて株式委託手数料は67億26百万円となりました。また、債券委託手数料は7百万円となり、その他の委託手数料を含めた委託手数料の合計は68億円となりました。

②引受け・売出し手数料

株式市況が軟調のなか、ファイナンスの件数・金額ともに大幅に減少したことから、株券引受け・売出し手数料は38百万円となりました。一方、地方債の引受けが引き続き好調であったことから、債券引受け・売出し手数料は25百万円となり、株券・債券を合わせた引受け・売出し手数料の合計は63百万円となりました。

③募集・売出しの取扱手数料、その他の受入手数料

募集・売出しの取扱手数料、その他の受入手数料につきましては、投資信託がその大半を占めています。

既存ファンドでは新興国の国債等に分散投資する「新興国国債オープン（愛称：アトラス）」の販売に努め、資産残高の積上げに注力するとともに、単位型の日本株ファンドを4～9月の各月に設定しました。また、相対的に金利の高い通貨を選定し現地通貨建ての短期債券等に分散投資するファンドや、ロシアの株式・債券に分散投資するファンドを導入し、品揃えを充実させました。

以上の結果、募集・売出しの取扱手数料は66億98百万円となりました。一方、その他の受入手数料につきましては、投資信託の代行手数料に加え、変額年金保険などの保険商品の販売に注力した結果、62億93百万円となりました。

トレーディング損益

金融不安を背景とした世界的な株価急落の影響から、自己売買益および外国株式店頭取引による収益が減少し、株券等トレーディング損益は、13億89百万円となりました。一方、債券等トレーディング損益につきましては、国内債の大口取引が拡大したものの、外国債券取引の減少が響き、56億25百万円となりました。また、その他のトレーディング損益は1億49百万円となり、以上の結果、トレーディング損益の合計は71億64百万円となりました。

金融収支

金融収益は14億52百万円、金融費用は12億22百万円となり、差引金融収支は2億30百万円となりました。

その他の営業収益

金融商品取引業および同付随業務に係るもの以外の営業収益は、8億28百万円となりました。

販売費・一般管理費

販売費・一般管理費は279億57百万円となりました。

営業外損益及び特別損益

営業外収益は10億37百万円、営業外費用は1億90百万円となりました。また、特別利益は15億51百万円、特別損失は1億19百万円となりました。

経営体制（平成20年11月21日現在）

当社グループ

持株会社

株式会社岡三証券グループ

グループ企業群

証券ビジネス

岡三証券株式会社　本店：東京都中央区
岡三オンライン証券株式会社　本店：東京都中央区
丸福証券株式会社　本店：新潟県長岡市
三晃証券株式会社　本店：東京都渋谷区
六二証券株式会社　本店：三重県桑名市
大石証券株式会社　本店：岐阜県大垣市
岡三国際（亜洲）有限公司　本社：香港

■ 主要事業内容

グループ中核企業の岡三証券を中心としたリテール（対面）証券ビジネスや、岡三オンライン証券を中心とするオンライン証券ビジネスなど、個人や法人のお客様に対する幅広い証券サービスの提供

アセットマネジメント・ビジネス

岡三アセットマネジメント株式会社

■ 主要事業内容

投資運用業、投資助言・代理業として、投資信託や投資顧問等の「資産運用ビジネス」を中心としたサービスの提供

グループサポート／その他関連ビジネス

岡三情報システム株式会社
岡三ビジネスサービス株式会社
岡三興業株式会社

■ 主要事業内容

情報処理サービス業や事務代行業、人材派遣業及び不動産業、保険代理店業を通じたグループのサポート、商品の提供

役　員

株式会社岡三証券グループ

取締役会長	加藤精一
取締役社長	加藤哲夫
専務取締役	新芝宏之
専務取締役	野中計彦
常務取締役	新堂弘幸
取締役	田中健一
取締役	金井政則
取締役	武宮健二郎
常勤監査役	朔浩一
常勤監査役	南浩典
監査役	伊藤雅博
監査役	平良木登規男
監査役	浅野幸弘
監査役	佐賀卓雄

(注) 監査役 平良木 登規男、監査役 浅野 幸弘および監査役 佐賀 卓雄の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員	加藤哲夫
執行役員	新芝宏之
執行役員	野中計彦
執行役員	新堂弘幸
執行役員	田中健一
執行役員	金井政則
執行役員	武宮健二郎
執行役員	岩木徹美
執行役員	古田省三
執行役員	田中充

岡三証券株式会社

取締役名誉会長	加藤精一
取締役会長	加藤哲夫
取締役社長	田中健一
専務取締役	岩木徹美
専務取締役	金井政則
専務取締役	野中計彦
専務取締役	武宮健二郎
常務取締役	田中充
常務取締役	武田正俊
常務取締役	古田省三
常務取締役	高松重之
常務取締役	寺山彰
常務取締役	小林雅典
取締役	新芝宏之
取締役	新堂弘幸
取締役	塩屋公男
取締役	村井博幸
取締役	松田聡
取締役	渡辺正一
取締役	古賀伸一
取締役	国広昭彦
取締役	青木義一
取締役	飯田真治
取締役	大谷三郎
取締役	夏目信幸
取締役	目黒博
取締役	吉村健也
取締役	関根淳
常勤監査役	伊藤雅博
監査役	丹泰徳
監査役	朔浩一

(注) 常勤監査役 伊藤 雅博および監査役 丹 泰徳は、会社法第2条16号に定める社外監査役であります。

株式の状況・株主メモ（平成20年9月30日現在）

株式の状況

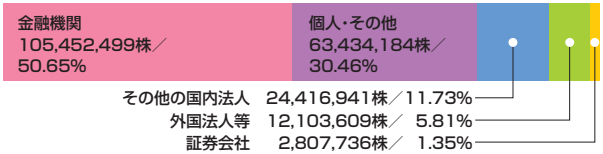
発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	30,095名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,800	4.71
住友信託銀行株式会社	9,726	4.67
農林中央金庫	9,700	4.66
第一生命保険相互会社	6,324	3.04
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	5,822	2.80
大同生命保険株式会社	5,500	2.64
有限会社藤精	5,266	2.53
株式会社りそな銀行	4,937	2.37
株式会社みずほコーポレート銀行	4,925	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口４Ｇ）	4,900	2.35

所有者別持株比率

平成20年9月30日現在



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月中に開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載いたします。） http://www.okasan.jp ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	（住所変更等用紙のご請求）0120-175-417 （その他ご照会）0120-176-417
（ＵＲＬ）	http://www.sumitomotrust.co.jp
同取次所	住友信託銀行株式会社　全国本支店

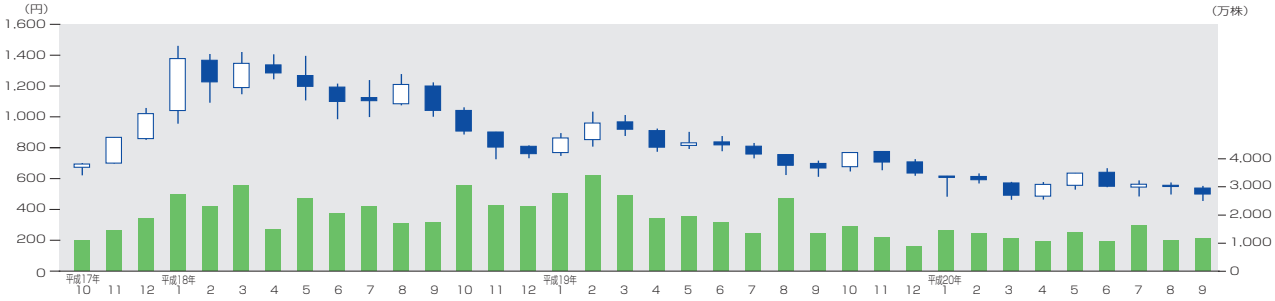
単元未満株式のお取扱いについて

当社の1単元（1,000株）に満たない株式を所有されている株主さまは、「単元未満株式買取請求制度」をご利用いただくことができます。お手続きに関しては、株主名簿管理人までお申しつけください。

なお、特別口座の株主さまにつきましては、株券電子化の施行日（平成21年1月5日予定）から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までにご請求をいただいた場合、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。

※単元未満株式について株式会社証券保管振替機構を利用されている株主さまにつきましては、上記取扱いと異なりますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

株価および出来高の推移（東証・月間）



key word キーワード

【ETF（Exchange Traded Fund、上場投資信託）】

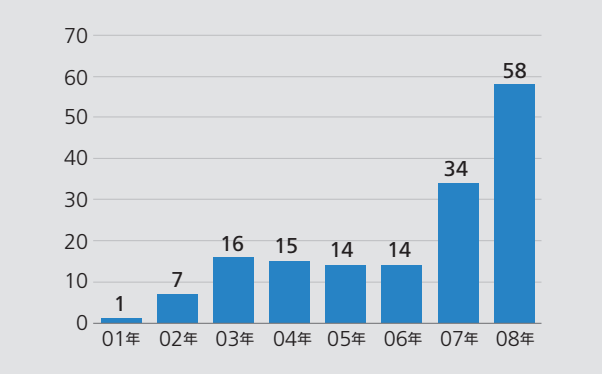
新商品登場で、分散投資の新たな形態として注目される上場投資信託

ETF（上場投資信託）は、“Exchange Traded Fund”の略語で、TOPIX（東証株価指数）や日経平均株価などの特定の株価指数などに値動きが連動するように作られ、金融商品取引所に上場している投資信託です。

ETFは1990年以降、米国を中心に急成長を遂げ、わが国では2001年（平成13年）7月から取引が開始されました。TOPIXや日経平均株価などの国内の株価指数だけでなく、韓国200種株価指数や上海株式指数、南アフリカ株式指数など海外の株価指数に連動するETFも合わせ、現在約70銘柄が東京証券取引所および大阪証券取引所に上場されています。また、金融商品取引法の規制緩和に伴い、最近では金価格や外国為替など株価指数以外の指数に連動するETFも登場してきました。ETFの価格は、日経平均株価など馴染みのある株価指数に連動しますので、ニュースなどを通じて価格の水準などがわかりやすい商品といえます。従来からインデックスファンドのように指数に連動する投資信託はありましたが、ETFは、日々刻々変化する株価指数の値動きを見ながら、取引所上場の株式銘柄と同じように随時売買することが可能です。また、比較的小額の資金ではじめられ、インデックスファンドに比べて信託報酬などの費用が安いこと、株価指数連動型であれば個別銘柄に投資するよりも高い分散投資効果が得られる点などもETFの特徴となっています。

このため、これまで資金規模の大きい投資家に限られていた運用方法が個人投資家でもできるようになったことで、分散投資の新たな形態として注目を集めています。

■ 東証上場 ETF の銘柄数推移



注）08年度は10月末現在（資料出所：東証データ）

■ 主な ETF の対象指数等

対　象	対象となる指数等	上場取引所
内国株価指数	TOPIX	東証
	TOPIX CORE30	東証
	日経 225	東証、大証
	日経 300	東証、大証
外国株価指数	韓国 200 種株価指数	東証
	上海株式指数	大証
	南アフリカ株式指数	大証
	ロシア株式指数	大証
金・外国為替	金価格	東証、大証
	外国為替（ルピー、レアル、ルーブル）	大証

注）資料出所：東証・大証データ

サービス網のご案内（平成20年11月21日現在）

■ 岡三証券グループ ■

本　店	東京都中央区日本橋1-17-6	03(3272)2222

■ 岡　三　証　券 ■

本　店	東京都中央区日本橋1-17-6	03(3272)2211
本店東館	東京都中央区日本橋1-20-5	03(3272)2211
岡三証券トレーディングセンター	東京都江東区平野3-2-12	03(3272)2211
アジア情報館	東京都港区虎ノ門1-4-7	03(5511)7711
札幌支店	北海道札幌市中央区北二条西3-1-8	011(251)3455
仙台支店	宮城県仙台市青葉区中央3-1-24	022(265)1718
勝田支店	茨城県ひたちなか市勝田中央12-15	029(275)3111
大宮支店	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5	048(644)5841
柏支店	千葉県柏市柏2-6-8	04(7163)4311
千葉支店	千葉県千葉市中央区富士見1-15-9	043(222)8131
浅草支店	東京都台東区雷門2-4-8	03(3844)1717
池袋支店	東京都豊島区西池袋1-18-2	03(3983)5151
新宿支店	東京都新宿区西新宿1-6-1	03(3342)2511
渋谷支店	東京都渋谷区渋谷1-7-7	03(3409)3241
大手町支店	東京都千代田区内神田1-6-10	03(3295)5171
虎の門支店	東京都港区虎ノ門1-3-2	03(3502)1801
大森支店	東京都品川区南大井6-28-11	03(3763)3171
八王子支店	東京都八王子市明神町4-7-15	042(645)2211
横浜支店	神奈川県横浜市中区尾上町2-27	045(651)1251
沼津支店	静岡県沼津市大手町2-4-1	055(962)1313
静岡支店	静岡県静岡市葵区常磐町1-4	054(251)1331
浜松支店	静岡県浜松市中区鍛冶町140-2	053(456)2161
恵那支店	岐阜県恵那市大井町201-10	0573(25)2111
名古屋支店	愛知県名古屋市中村区名駅4-2-28	052(582)3431
金山支店	愛知県名古屋市中区金山1-13-6	052(321)1551
刈谷支店	愛知県刈谷市東陽町3-43	0566(21)3232
金沢支店	石川県金沢市香林坊1-2-20	076(262)8811
四日市支店	三重県四日市市諏訪栄町20-11	059(353)1131
鈴鹿支店	三重県鈴鹿市西条4-87-2	059(382)1345
津支店	三重県津市中央6-5	059(226)1511
津支店久居営業所	三重県津市久居新町3002-3	059(256)8777
伊賀上野支店	三重県伊賀市上野東町2922	0595(21)5131
名張支店	三重県名張市希央台5番町11	0595(63)1511
名張支店桔梗が丘営業所	三重県名張市桔梗が丘2番町4-1	0595(66)4688
松阪支店	三重県松阪市中町6-8-1	0598(21)2552
伊勢支店	三重県伊勢市本町11-1	0596(28)1171
志摩支店	三重県志摩市阿児町鵜方4042	0599(43)5511
尾鷲支店	三重県尾鷲市中村町3-36	0597(22)1515
京都支店	京都府京都市下京区四条通高倉西入立売西町63-1	075(231)7111
宮津支店	京都府宮津市鶴賀2066-69	0772(22)2166
大阪店	大阪府大阪市中央区今橋1-8-7	06(6202)1191
梅田支店	大阪府大阪市北区梅田1-12-17	06(6345)2951
阿倍野支店	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100	06(6631)9331
千里支店	大阪府吹田市津雲台1-2-D9	06(6834)3535
東大阪支店	大阪府東大阪市足代2-3-6	06(6728)1133
堺支店	大阪府堺市堺区熊野町東1-1-2	072(233)5141
藤井寺支店	大阪府藤井寺市岡2-12-6	072(953)5941
奈良支店	奈良県奈良市本子守町1-1	0742(22)4001
和歌山支店	和歌山県和歌山市八番丁11	073(431)1431
神戸支店	兵庫県神戸市中央区三宮町1-1-2	078(392)5656
姫路支店	兵庫県姫路市十二所前町45	079(222)5961
岡山支店	岡山県岡山市田町1-3-6	086(224)5111
玉野支店	岡山県玉野市築港2-4-12	0863(31)1211
広島支店	広島県広島市中区大手町2-8-4	082(241)9511
宇部支店	山口県宇部市相生町9-7	0836(31)1171
松山支店	愛媛県松山市花園町1-3	089(932)2121
宇和島支店	愛媛県宇和島市錦町3-20	0895(22)5711
福岡支店	福岡県福岡市中央区天神1-12-20	092(751)3434
熊本支店	熊本県熊本市新市街11-18	096(325)7111
ニューヨーク駐在員事務所	420 Lexington Avenue,Suite 2529 New York, N.Y. 10170, U.S.A.	212-983-1504
上海駐在員事務所	上海市浦東新区浦東南路528号 上海証券大厦南樓2007号室	21-6881-1001

■ グ　ル　ー　プ　会　社 ■

岡三オンライン証券株式会社	東京都中央区銀座3-9-7	03(3547)0100
丸福証券株式会社	新潟県長岡市大手通1-5-5	0258(35)0290
三晃証券株式会社	東京都渋谷区代々木2-13-4	03(5371)3111
六二証券株式会社	三重県桑名市中央町1-29	0594(23)6211
大石証券株式会社	岐阜県大垣市栗屋町1	0584(75)3111
岡三国際（亜洲）有限公司	香港中環皇后大道中99号 中環中心46樓4601-3室	2525-3045
岡三アセットマネジメント株式会社	東京都中央区八重洲2-8-1	03(3516)1188
岡三情報システム株式会社	東京都江東区平野3-2-12	03(3820)1511
岡三ビジネスサービス株式会社	東京都中央区日本橋1-16-3	03(5203)1581
岡三興業株式会社	東京都中央区日本橋小網町9-9	03(3665)3500

株式会社 岡三証券グループ
http://www.okasan.jp

再生紙を使用しています。